

「独身者調査」

- 1) 独身者（およびその両親）の人口学的・社会経済的屬性
- 2) 結婚意欲と結婚に対する意識
- 3) 子ども・家族に関する価値観
- 4) ライフコースに関する意識

5. 調査の方法

厚生労働省大臣官房統計情報部が平成14年度に実施する国民生活基礎調査に併行して、配票自計・密封回収方式によって行う。

6. 結果の集計および公表

国立社会保障・人口問題研究所が行う。

(釜野さおり記)

日本人口学会第54回大会

日本人口学会（大淵寛会長）の第54回大会は、2002年6月8日～9日、明治大学駿河台校舎・リバティタワーにおいて開催された。本大会は大会運営委員長・兼清弘之明治大学教授、運営委員会事務局長・安藏伸治教授とする大会運営委員会の尽力によって、多数の参加者があり、二日間にわたって活発かつ実質的な討議が行われ、盛会のうちに幕を閉じた。シンポジウム、共通論題（A、B）、テーマセッション（1、2）、並びに自由論題の報告題目、報告者、討論者は以下のとおりである。

●シンポジウム「結婚の人口学—非婚・離婚はどこまで増えるか—」

- | | |
|-------------|----------------------|
| | ＜組織者＞兼清弘之（明治大学） |
| | ＜座長＞津谷典子（慶應義塾大学） |
| 1. 非婚・離婚の動向 | 加藤久和（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 2. 非婚の要因と背景 | 小川直宏（日本大学） |
| 3. 離婚の要因と背景 | 安藏伸治（明治大学） |
| | ＜討論者＞河野稠果（麗澤大学） |
| | 樋口美雄（慶應義塾大学） |

●共通論題

共通論題A

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 「新世紀の人口情報：評価と課題」 | ＜組織者＞高橋重郷（国立社会保障・人口問題研究所） |
| | ＜座長＞伊藤彰彦（日本統計協会） |
| 1. 2000年国勢調査と今後の課題 | 松村迪雄（総務庁統計局） |
| 2. 公開データに基づく研究から得られた成果と課題 | 永瀬伸子（お茶の水女子大学） |
| 3. 将来人口推計等の研究から得られた研究成果と課題 | 石川 晃（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 4. 公的データの利用による研究成果と課題 | 齊藤安彦（日本大学） |
| | ＜討論者＞渡邊吉利（国際医療福祉大学） |
| | 井上俊一（日本大学） |

共通論題 B

「第二の人口転換－ヨーロッパと日本－」 <組織者>阿藤 誠 (国立社会保障・人口問題研究所)
<座長>杉野元亮 (九州共立大学)

1. 同棲・婚外子：婚姻は廃れゆく制度か 岩澤美帆 (国立社会保障・人口問題研究所)
2. 無子・一人っ子カップル：2子規範は崩れるか 原 俊彦 (北海道東海大学)
3. 晩産化：30代のキャッチアップは可能か 和田光平 (中央大学)
4. 個人主義化：自己実現欲求は人口再生産の妨げとなるか

福田亘孝 (国立社会保障・人口問題研究所)

<討論者>坂井博通 (埼玉県立大学)

柳下真知子 (城西国際大学)

●テーマセッション

テーマセッション 1

「災害・疾病・飢饉の歴史人口学」 <組織者・座長>鬼頭 宏 (上智大学)

1. 人口動態統計からみた結核の100年 池田一夫 (東京都立衛生研究所)
灘岡陽子 (東京都立衛生研究所)
倉科周介 (老人保健施設ケアセンター阿見)
2. 環境要因の人口に及ぼした影響－ヨーロッパ前近代社会における歴史人口像について－
赤澤とし子 (那須大学)
3. 19世紀イギリス工業都市の疾病 安元 稔 (駒澤大学)
4. 飢饉と日本人口史 斎藤 修 (一橋大学)
比田井 一智 (一橋大学)
5. 転換前の人口変動 大淵 寛 (中央大学)
6. 人口転換理論と日本人の経験 木下太志 (愛知江南短期大学)

テーマセッション 2

「一極集中の地域人口学」 <組織者・座長>高橋眞一 (神戸大学)

1. 人口移動の地域構造からみた一極集中現象 阿部 隆 (日本女子大学)
2. 戦後日本における人口移動転換 井上 孝 (青山学院大学)
3. 人口集中の厚生経済学 野上裕生 (日本貿易振興会・アジア経済研究所)
4. 東京圏の近年の人口移動変化 石川義孝 (京都大学)
5. シナリオ設定による東京圏の将来人口推計 大江守之 (慶應義塾大学)
6. 東京大都市圏の出生力地域格差－地価・住宅・学歴成分との関連で－ 田中恭子 (埼玉大学)
7. アジアの都市化の実態と展望 新田目夏実 (拓殖大学)

●自由論題

[第1部会]

- <座長>嵯峨座晴夫 (早稲田大学)
1. 幕末期京都への人口流入－生国と宗派のネットワークをめぐって－ 浜野 潔 (関西大学)
 2. 幕末維新时期における結婚と出生の地域性 黒須里美 (麗澤大学)
 3. 幕末維新时期における世帯構造の地域性 岡田あおい (帝京大学)
 4. 19世紀の奥会津地方における人口増加とその社会経済的背景 <座長>坪内玲子 (龍谷大学)
川口 洋 (帝塚山大学)

5. 石見の人口の地域差

廣嶋清志 (島根大学)

[第2部会]

<座長>石 南國 (城西大学)

1. アジア諸国の国際人口移動 早瀬保子 (日本貿易振興会・アジア経済研究所)
2. タイの労働市場と国際労働移動 渡辺真知子 (明海大学)
- <座長>岡崎陽一 (日本大学)
3. 現代中国における人口移動とジェンダー—農村出稼ぎ女性の場合— 陸小媛 (城西国際大学)
4. 米国における移民第二世代児童の貧困 千年よしみ (国立社会保障・人口問題研究所)

[第3部会]

<座長>高坂宏一 (杏林大学)

1. 人口減少と環境汚染 葛西孝平 (京都産業大学)
2. 住宅環境が居住地選択に与える影響 松下敬一郎 (関西大学)
3. 地域別にみた所得格差 小島克久 (国立社会保障・人口問題研究所)
- <座長>岡田 實 (元・中央大学)
4. 日本の人口転換とその国際的統合の可能性 黒田俊夫 (家族計画国際協力財団)
5. 人口増加のための条件は—創造主のメッセージに聞く— 内海健寿 (会津大学)

[第4部会]

<座長>山口喜一 (元・東京家政学院大学)

1. 『少子化の見通しに関する専門家調査』からみた結婚・出生をめぐる将来予測について 守泉理恵 (国立社会保障・人口問題研究所)
2. 少子化社会における子育てとジェンダー 天童睦子 (東京女子大学)
3. 世論にみる少子化の影響認知 坂井博通 (埼玉県立大学)
- <座長>正木基文 (昭和大学)
4. 第一子出生への変遷—オランダ・日本の場合— 松尾英子 (人口研究センター)
5. 先進諸国における出生力の最近の動向 佐藤龍三郎 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 坂東里江子 (国立社会保障・人口問題研究所)
6. 先進諸国にみられる晩婚化現象 嶋中隆介 (麗澤大学)
7. タイにおける経済危機の出産意欲への影響 津谷典子 (慶應義塾大学)

[第5部会]

<座長>重松峻夫 (福岡大学)

1. 多相生命表による結婚持続期間の分析 別府志海 (麗澤大学)
2. 世代生命表 (1891~2000) とその応用—Lea-Carter法に関連して 南條善治 (東北学院大学)
- 吉永一彦 (福岡大学)
3. 人口移動統計からみた近年の移動性向 江崎雄治 (専修大学)
- 西岡八郎 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 大場 保 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 小林信彦 (国立社会保障・人口問題研究所)
4. 「都道府県別将来推計人口」からみた今後の地域人口について 西岡八郎 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 大場 保 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 江崎雄治 (専修大学)
- 小林信彦 (国立社会保障・人口問題研究所)

- <座長>稲葉 寿(東京大学)
山田 茂(国土舘大学)
大塚友美(日本大学)
5. 2000年国勢調査結果の精度について
 6. 補充移民の推計について
 7. 出生力のコーホート・モデルとピリオド・モデル 鈴木 透(国立社会保障・人口問題研究所)
- [第6部会]

- <座長>濱 英彦(元・成城大学)
1. 都道府県人口移動表と年齢各歳別転入超過数(推定値)からみた都道府県間人口移動のあらまし
大場 保(国立社会保障・人口問題研究所)
 2. 広島県の人口移動理由の変化(1966年～2000年) 伊藤 薫(岐阜聖徳学園大学)
- <座長>山本千鶴子(元・国立社会保障人口問題研究所)
3. 釧路市における帰還移動－住民票データファイルの分析－
清水昌人(国立社会保障・人口問題研究所)
 4. 1920～30年の地域人口分布と人口移動－「1960年代以前のわが国の地域人口の研究」その3－
中川聡史(神戸大学)
高橋眞一(神戸大学)
- <座長>坪内良博(甲南女子大学)
5. イスラム諸国における血族結婚と出生力 小島 宏(国立社会保障・人口問題研究所)
 6. 東南アジアのムスリム人口 店田廣文(早稲田大学)
- [第7部会]

- <座長>森岡 仁(駒澤大学)
1. 一般均衡的成長会計による少子高齢化の経済的分析 山口三十四(神戸大学)
 2. 高齢化と経済成長－高齢化社会で人的資本が経済成長に果たす役割－ 両角良子(東京大学)
- <座長>江見康一(一橋大学)
3. 老親介護における有配偶女性の役割－別居介護に注目して－
小山泰代(国立社会保障・人口問題研究所)
 4. 中国における農村人口の高齢化 羅 潔(早稲田大学)
- [第8部会]

- <座長>金子武治(女子栄養大学)
1. 戦前日本の農業世帯内時間配分 小林淑恵(慶應義塾大学)
 2. 日本における離家決定要因－NFR98データを用いた分析－ 福田節也(明治大学)
 3. 調査における生存親族数 渡邊吉利(国際医療福祉大学)
- <座長>鈴木良一(家族計画国際協力財団)
4. アフリカ(サハラ砂漠以南)の人口政策－現状と出生率転換－大橋慶太(モントリオール大学)
 5. 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」－国際人権法からの考察－ 谷口真由美(大阪大学)
 6. 日本における人口学と生殖技術の関係性 仙波由加里(早稲田大学)
(加藤久和記)

日本中東学会第18回大会

日本中東学会(会長:加藤 博・一橋大学教授)の第18回大会(実行委員長:佐藤次高・東京大学教授)が2002年5月11日(土)～12日(日)の2日間にわたって東京大学本郷キャンパスの山上会館